

令和5年11月30日（木）9時30分～
鳥栖市役所 3階 第1会議室

(1) 特定非営利活動法人 i-care kids 京都
小規模保育園 キコレで行われている保育について
研修会の動画鑑賞会

(2) グループワーク
それぞれの立場で感じている現状、課題、その対策案について話し合う。

◎現場の現状と課題について

【看護師側】

- ・看護師の配置について、園全体での看護師配置を行っており、医療的ケア児を受け入れるためには、新たに1名追加する必要がある。その看護師のスキルとして、小児経験が無ければ対応はむずかしくなる。
- ・看護師としてのプレッシャーが一人だと強くなる。

【保育園側】

- ・急変する時についての受け入れ側の不安。
- ・受け入れたことがないので、保育士としての不安が大きい。
- ・収入面、保育園は低い。
- ・鳥栖市は医療的ケア専門の窓口があるので、相談する窓口があればと思う。
- ・現状としては待機児童がいる。
- ・医療的ケア児の受け入れのための物品や人員配置等に合わせていくことへ困難。
- ・受け入れたいと思っても情報が無すぎる（補助金や医療的ケア受け入れについて）

☆課題として

- ・成り手がいない（小児の経験がない）
- ・看護師、保育士の認識の差（経験の差）
- ・複数で看護師対応が出来れば助かる
- ・医療的ケア児の受け入れについて経験不足の為、見学や学びの場が増えれば
- ・小学生なら特別支援学校があるが、幼稚園や保育園の手厚い支援がない。

◎提案

- ・コロナの時に看護師が増えており、隠れた人材はたくさんいる。
- ・久留米などの取り組みを取り入れてほしい。
- ・看護師の派遣システムづくりをしたらいいのではないか。（行政にてシステムづくりしてほしい）
- ・医療的ケア児の情報交換の場所があれば行ってみたいと思えるような場所作り。
- ・